

志々小の頓原小への統合を正式決定

令和8年2月25日に「飯南町総合教育会議」を開催。令和9年4月1日に「志々小学校を頓原小学校へ統合」することを正式に決定しました。令和6年に定めた「飯南町教育環境基本方針」では「小学校は可能な限り存続する」としていました。しかし、その後の耐震診断の結果や児童数の推移等を考慮し、今年度策定した「飯南町教育環境基本計画」では、「志々小学校については、児童数の減少と学校施設などの状況をもとに、保護者や地域と十分に協議し、頓原小学校への統合を検討する。」としていました。

志々小学校の頓原小学校への統合を正式決定 今後、志々地区協議会で閉校行事等を協議

昨年8月から11月にかけて開催した説明会とおして、住民や保護者の皆さんに「志々小を統合する方針」を説明してきました。今回の正式決定を受け、今後は児童が安心して新たな学校生活を送れるように、カリキュラム、スクールバス、放課後児童クラブなどについて調整を進めていきます。

志々地区協議会を開催

志々小の頓原小への統合にあたり、統合に関することや統合後の地域振興を検討するため「志々小学校統合に関する地区協議会」を設置。地域住民や保護者、学校関係者に委員に就任していただき、検討を始めました。1月に開催した1回目の協議会では、「児童が円滑に新たな学校生活を始めるために何が必要か」を中心に意見交換。2月末に開

催した2回目の協議会では、閉校行事の内容や進め方などを協議しました。今後、閉校行事に向けて実行委員会を組織。多くの方に関わっていただき、「志々小学校史の総仕上げ」として、次世代の教育や地域振興につながる明るい記念映像を制作することとしました。この閉校行事や映像化には地域の皆さまのお力が必要です。ご協力いただける方を募集しています。皆さんで志々小学校の卒業を盛り上げましょう！



地区協議会で配布した資料等はホームページに掲載しています。閉校行事にご協力いただける方は以下にお問い合わせください。

教育委員会：76-3944



小中学校再編検討委員会を開催

今後の人口減少に対応した、小中学校の再編を検討し、本町にふさわしい教育環境をつくるため「飯南町立小中学校再編検討委員会」を設置。委員には、各地区の住民、PTA代表、教員など、さまざまな立場の皆さまに就任していただき、委員長には烏田勝信さんを選出しました。

本協議会は、諮問答申形式ではなく、事

小中学校再編 検討委員会を開催

務局と委員の皆さんで意見交換しながら、今後の小中学校の規模や場所等について、令和8年度末を目処に方向性を示したいと考えています。

第1回目の会議では、基本方針と基本計画、これまでの経緯を説明。その後、委員の皆さんから多くの意見や質問をいただきました。今後も多くの皆さんの意見を取り入れ、情報を共有しながら検討を進めていきます。

主な意見・質問と回答

Q&A

第1回の再編検討委員会で配布した資料はホームページに掲載しています。また、いただいた主な質問は下記のとおりです。



Q. 中学校を新設とのことだが、予算（財源）的に建設が可能なのか？

A. 詳細な造成費や校舎建設費等を算出中です。他の大規模事業や今後の財政計画との調整も必要となるので、財政部局とも協議していきます。

Q. 基本計画策定の時のように、方向性が覆ることのないように、議会への説明や住民への広報をしていただきたい。

A. 中学校の新設場所等は、大変重要な行政課題であり、議会や関係の皆さんに十分に説明をして進めたい。広報についても「教育環境NEWS」等を通じて行っていきます。

Q. 今年度の出生数は10人にも満たないようである。最新の出生数や学校別の児童生徒数を提示してほしい。

A. 基本方針や基本計画策定時とは児童生徒数の推移など状況が変わっている。第2回の際に提示できるように準備をして進めます。

Q. 保育所のあり方も検討されている。「保小中高一貫教育」を進める上で、大切なことなので、しっかりと状況を把握していただきたい。

A. 保育所の検討状況も把握しながら、総合的に今後の小中学校のあり方を検討します。